

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道497号 伊万里道路
事業主体	九州地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業 費用便益比 (B / C) = 2.7 残事業 費用便益比 (B / C) = 2.8

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b (当該区間 / 平行区間) について: (伊万里市一円) 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間: 70.7万人・時間/年 (伊万里市一円) 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率: 1割削減 (伊万里市一円)
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	福岡方面を結ぶ「いまり号」の増強が期待される (現在9往復/日)
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	平成15年度の実績は16,350個 (韓国航路、中国航路の外貿コンテナ定期航路が就航しており、平成16年は2万個超が見込まれる)
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	伊万里市は佐賀県の中でも農業生産額第1位であり、「伊万里梨」や「伊万里牛」等の農産ブランドが全国へ流通している
		現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	平成16年6月に「伊万里・有田焼地域再生計画」に認定
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		地域高規格道路の位置づけあり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	日常生活中心都市である伊万里・唐津を連絡する(主要指標現況地算出マニュアルより)(現況37分--->将来20分 17分の短縮。 唐津伊万里道路を含む)
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	有田陶器市(有田町)は平成15年のGW時で103万人を超える大規模イベントであり、福岡、本州方面からのアクセス利便性向上が見込める
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	伊万里市、有田町の観光は合わせて年間350万人の集客があり、福岡・唐津方面からの入込みの場合(年間約190万人)伊万里道路の利用により約10分の短縮が見込まれる
		特別立法に基づく事業である	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保		三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	伊万里市市街地部には、500件/億台キロを越える区間があり、その軽減が見込める
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	緊急輸送道路ネットワーク計画 国道202号 平成8年7月 （救急患者搬送時間の短縮 伊万里市消防本部「リック」 および血液搬送時間の短縮 佐賀県赤十字血液センター「リック」）
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	伊万里市～唐津市間には並行してR204号が代替するが、一部大型車不通区間有り
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	並行する長崎自動車道の代替路線となる
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：975t-cを排出抑制
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアジェンダとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般国道497号 (西九州自動車道)	伊万里道路	L = 6 . 8 K m	高規格B	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
22,600	4	九州地方整備局

費用

	改 築 費	維持修繕費	合 計
基 準 年	平成16年度		
単純合計	249億円	70億円	319億円
うち残事業分	245億円	70億円	315億円
基準年における 現在価値 (C)	164億円	23億円	187億円
うち残事業分	160億円	23億円	183億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成16年度			
供用年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	4億円	2億円	27億円
基準年における 現在価値 (B)	404億円	59億円	42億円	505億円
うち残事業分	404億円	59億円	42億円	505億円

結 果

費用便益比 (事業全体)	2.7
費用便益比 (残事業)	2.8

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：伊万里道路（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 【伊万里道路】 ：6.8km	交通量	[台/日]	0	21,700	
	走行時間	[分]	0	5	
	走行時間費用	[億円/年]	0	28	
②主な周辺道路	現道(国道 202号) ：6.6km	交通量	[台/日]	23,300	12,700
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	68	33
	市_大坪木 須線 ：2.4km	交通量	[台/日]	18,500	11,300
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	15	9
	県_伊万里 有田線 ：5.0km	交通量	[台/日]	10,700	7,800
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	22	15
	国道204号 ：4.6km	交通量	[台/日]	15,400	11,700
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	25	19
③その他道路合計 ：2643.9km	走行時間費用	[億円/年]	6,259	6,248	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2669.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,389	6,352	37

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：伊万里道路（事業全体・残事業）



費用便益分析の条件

事業名：伊万里道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成16年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他()	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	
転換率式を用いた配分			
Q-V式と転換率式の併用による配分			
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)			
簡易手法			
簡易手法の場合		小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 各道路区間(リンク)毎の混雑の度合いに応じた速度差を考慮するとともに、1日の平均的な走行状態を表現するため「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載		
	その他()		
	その他()		

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

箇所名:伊万里道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	6.8	1.84

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 20年目	H 7	1.4233	0	0	0	0
- 19年目	H 8	1.3686	0	0	0	0
- 18年目	H 9	1.3159	0	0	0	0
- 17年目	H 10	1.2653	0	0	0	0
- 16年目	H 11	1.2167	0	0	0	0
- 15年目	H 12	1.1699	0	1	0	0
- 14年目	H 13	1.1249	0	0	0	0
- 13年目	H 14	1.0816	1	1	0	0
- 12年目	H 15	1.0400	0	0	0	0
- 11年目	H 16	1.0000	1	1	0	0
- 10年目	H 17	0.9615	1	1	0	0
- 9年目	H 18	0.9246	1	1	0	0
- 8年目	H 19	0.8890	2	2	0	0
- 7年目	H 20	0.8548	7	6	0	0
- 6年目	H 21	0.8219	15	12	0	0
- 5年目	H 22	0.7903	25	20	0	0
- 4年目	H 23	0.7599	30	23	0	0
- 3年目	H 24	0.7307	35	26	0	0
- 2年目	H 25	0.7026	40	28	0	0
- 1年目	H 26	0.6756	15	10	0	0
供用開始年次	H 27	0.6496	0	0	2	1
1年目	H 28	0.6246	0	0	2	1
2年目	H 29	0.6006	0	0	2	1
3年目	H 30	0.5775	0	0	2	1
4年目	H 31	0.5553	0	0	2	1
5年目	H 32	0.5339	5	3	2	1
6年目	H 33	0.5134	15	8	2	1
7年目	H 34	0.4936	20	10	2	1
8年目	H 35	0.4746	25	12	2	1
9年目	H 36	0.4564	10	4	2	1
10年目	H 37	0.4388	0	0	2	1
11年目	H 38	0.4220	0	0	2	1
12年目	H 39	0.4057	0	0	2	1
13年目	H 40	0.3901	0	0	2	1
14年目	H 41	0.3751	0	0	2	1
15年目	H 42	0.3607	0	0	2	1
16年目	H 43	0.3468	0	0	2	1
17年目	H 44	0.3335	0	0	2	1
18年目	H 45	0.3207	0	0	2	1
19年目	H 46	0.3083	0	0	2	1
20年目	H 47	0.2965	0	0	2	1
21年目	H 48	0.2851	0	0	2	1
22年目	H 49	0.2741	0	0	2	0
23年目	H 50	0.2636	0	0	2	0
24年目	H 51	0.2534	0	0	2	0
25年目	H 52	0.2437	0	0	2	0
26年目	H 53	0.2343	0	0	2	0
27年目	H 54	0.2253	0	0	2	0
28年目	H 55	0.2166	0	0	2	0
29年目	H 56	0.2083	0	0	2	0
30年目	H 57	0.2003	0	0	2	0
31年目	H 58	0.1926	0	0	2	0
32年目	H 59	0.1852	0	0	2	0
33年目	H 60	0.1780	0	0	2	0
34年目	H 61	0.1712	0	0	2	0
35年目	H 62	0.1646	0	0	2	0
36年目	H 63	0.1583	0	0	2	0
37年目	H 64	0.1522	0	0	2	0
38年目	H 65	0.1463	0	0	2	0
39年目	H 66	0.1407	-34	-5	2	0
合計			215	164	70	23
単純事業費計			249		70	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

箇所名:伊万里道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	6.8	1.84

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 20年目	H 7	1.4233	0	0	0	0
- 19年目	H 8	1.3686	0	0	0	0
- 18年目	H 9	1.3159	0	0	0	0
- 17年目	H 10	1.2653	0	0	0	0
- 16年目	H 11	1.2167	0	0	0	0
- 15年目	H 12	1.1699	0	0	0	0
- 14年目	H 13	1.1249	0	0	0	0
- 13年目	H 14	1.0816	0	0	0	0
- 12年目	H 15	1.0400	0	0	0	0
- 11年目	H 16	1.0000	0	0	0	0
- 10年目	H 17	0.9615	1	1	0	0
- 9年目	H 18	0.9246	1	1	0	0
- 8年目	H 19	0.8890	2	2	0	0
- 7年目	H 20	0.8548	7	6	0	0
- 6年目	H 21	0.8219	15	12	0	0
- 5年目	H 22	0.7903	25	20	0	0
- 4年目	H 23	0.7599	30	23	0	0
- 3年目	H 24	0.7307	35	26	0	0
- 2年目	H 25	0.7026	40	28	0	0
- 1年目	H 26	0.6756	15	10	0	0
供用開始年次	H 27	0.6496	0	0	2	1
1年目	H 28	0.6246	0	0	2	1
2年目	H 29	0.6006	0	0	2	1
3年目	H 30	0.5775	0	0	2	1
4年目	H 31	0.5553	0	0	2	1
5年目	H 32	0.5339	5	3	2	1
6年目	H 33	0.5134	15	8	2	1
7年目	H 34	0.4936	20	10	2	1
8年目	H 35	0.4746	25	12	2	1
9年目	H 36	0.4564	10	4	2	1
10年目	H 37	0.4388	0	0	2	1
11年目	H 38	0.4220	0	0	2	1
12年目	H 39	0.4057	0	0	2	1
13年目	H 40	0.3901	0	0	2	1
14年目	H 41	0.3751	0	0	2	1
15年目	H 42	0.3607	0	0	2	1
16年目	H 43	0.3468	0	0	2	1
17年目	H 44	0.3335	0	0	2	1
18年目	H 45	0.3207	0	0	2	1
19年目	H 46	0.3083	0	0	2	1
20年目	H 47	0.2965	0	0	2	1
21年目	H 48	0.2851	0	0	2	1
22年目	H 49	0.2741	0	0	2	0
23年目	H 50	0.2636	0	0	2	0
24年目	H 51	0.2534	0	0	2	0
25年目	H 52	0.2437	0	0	2	0
26年目	H 53	0.2343	0	0	2	0
27年目	H 54	0.2253	0	0	2	0
28年目	H 55	0.2166	0	0	2	0
29年目	H 56	0.2083	0	0	2	0
30年目	H 57	0.2003	0	0	2	0
31年目	H 58	0.1926	0	0	2	0
32年目	H 59	0.1852	0	0	2	0
33年目	H 60	0.1780	0	0	2	0
34年目	H 61	0.1712	0	0	2	0
35年目	H 62	0.1646	0	0	2	0
36年目	H 63	0.1583	0	0	2	0
37年目	H 64	0.1522	0	0	2	0
38年目	H 65	0.1463	0	0	2	0
39年目	H 66	0.1407	-34	-5	2	0
合計			211	160	70	23
単純事業費計			245		70	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:伊万里道路

年次	年度 (基準年) H16	総走行台数の年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%	
																					乗用車
供用開始年次	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.6496	11	2	5	4	21	14	1	0	1	1	4	2	2	2	27	18
1年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6246	11	2	5	4	21	13	1	0	1	1	4	2	2	1	27	17
2年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6006	11	2	5	4	21	13	1	0	1	1	4	2	2	1	27	16
3年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.5775	11	2	5	4	21	12	1	0	1	1	4	2	2	1	27	16
4年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.5553	12	2	5	4	21	12	1	0	1	1	4	2	2	1	27	15
5年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5339	12	2	5	4	22	12	1	0	1	1	4	2	2	1	28	15
6年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5134	12	2	5	4	22	11	1	0	1	1	4	2	2	1	28	14
7年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.4936	12	2	5	3	22	11	1	0	1	1	4	2	2	1	28	14
8年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.4746	12	2	5	3	22	10	1	0	1	1	4	2	2	1	28	13
9年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4564	12	2	5	3	22	10	1	0	1	1	4	2	2	1	28	13
10年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4388	20	3	8	6	37	16	2	0	2	1	5	2	4	2	46	20
11年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4220	20	3	8	6	37	16	2	0	2	1	5	2	4	2	46	20
12年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4057	20	3	8	6	37	15	2	0	2	1	5	2	4	2	46	19
13年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.3901	20	3	8	6	37	15	2	0	2	1	5	2	4	1	46	18
14年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.3751	20	3	8	6	37	14	2	0	2	1	5	2	4	1	46	17
15年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3607	21	3	8	6	37	13	2	0	2	1	5	2	4	1	46	17
16年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3468	20	3	8	6	37	13	2	0	2	1	5	2	4	1	46	16
17年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3335	20	3	8	6	37	12	2	0	2	1	5	2	4	1	46	15
18年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3207	20	3	8	6	37	12	2	0	2	1	5	2	4	1	46	15
19年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3083	20	3	8	6	37	11	2	0	2	1	5	2	4	1	45	14
20年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.2965	20	3	8	6	37	11	2	0	2	1	5	2	4	1	45	13
21年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.2851	20	3	8	6	36	10	2	0	2	1	5	1	4	1	45	13
22年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2741	20	3	8	6	36	10	2	0	2	1	5	1	4	1	45	12
23年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2636	20	3	8	6	36	10	2	0	2	1	5	1	4	1	45	12
24年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2534	20	3	8	6	36	9	2	0	2	1	5	1	4	1	45	11
25年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2437	20	3	8	6	36	9	2	0	2	1	5	1	4	1	44	11
26年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2343	20	3	8	6	36	8	2	0	2	1	5	1	4	1	44	10
27年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2253	20	3	8	6	36	8	2	0	2	1	5	1	4	1	44	10
28年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2166	20	3	8	6	36	8	2	0	2	1	5	1	4	1	44	10
29年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2083	20	3	7	6	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	44	9
30年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2003	20	3	7	6	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	44	9
31年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.1926	19	3	7	6	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	44	8
32年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.1852	19	3	7	5	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	43	8
33年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1780	19	3	7	5	35	6	2	0	2	1	5	1	4	1	43	8
34年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1712	19	3	7	5	35	6	2	0	2	1	5	1	4	1	43	7
35年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1646	19	3	7	5	35	6	2	0	2	1	5	1	3	1	43	7
36年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1583	19	3	7	5	35	5	2	0	2	1	5	1	3	1	43	7
37年目	H 64	0.99617	0.99684	0.99634	0.1522	19	3	7	5	34	5	2	0	2	1	5	1	3	1	43	6
38年目	H 65	0.99615	0.99683	0.99633	0.1463	19	3	7	5	34	5	2	0	2	1	5	1	3	1	42	6
39年目	H 66	0.99614	0.99682	0.99631	0.1407	19	3	7	5	34	5	2	0	2	1	5	1	3	0	42	6
合計						711	101	277	205	1,294	404	74	6	64	40	184	59	132	42	1,610	505

便益の現在価値算定表

箇所名:伊万里道路

年次	年度 (基準年) H16	総走行台数の年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%	
																					乗用車
供用開始年次	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.6496	11	2	5	4	21	14	1	0	1	1	4	2	2	2	27	18
1年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6246	11	2	5	4	21	13	1	0	1	1	4	2	2	2	27	17
2年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6006	11	2	5	4	21	13	1	0	1	1	4	2	2	2	27	16
3年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.5775	11	2	5	4	21	12	1	0	1	1	4	2	2	2	27	16
4年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.5553	12	2	5	4	21	12	1	0	1	1	4	2	2	2	27	15
5年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5339	12	2	5	4	22	12	1	0	1	1	4	2	2	2	28	15
6年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5134	12	2	5	4	22	11	1	0	1	1	4	2	2	2	28	14
7年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.4936	12	2	5	3	22	11	1	0	1	1	4	2	2	2	28	14
8年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.4746	12	2	5	3	22	10	1	0	1	1	4	2	2	2	28	13
9年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4564	12	2	5	3	22	10	1	0	1	1	4	2	2	2	28	13
10年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4388	20	3	8	6	37	16	2	0	2	1	5	2	4	2	46	20
11年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4220	20	3	8	6	37	16	2	0	2	1	5	2	4	2	46	20
12年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4057	20	3	8	6	37	15	2	0	2	1	5	2	4	2	46	19
13年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.3901	20	3	8	6	37	15	2	0	2	1	5	2	4	1	46	18
14年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.3751	20	3	8	6	37	14	2	0	2	1	5	2	4	1	46	17
15年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3607	21	3	8	6	37	13	2	0	2	1	5	2	4	1	46	17
16年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3468	20	3	8	6	37	13	2	0	2	1	5	2	4	1	46	16
17年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3335	20	3	8	6	37	12	2	0	2	1	5	2	4	1	46	15
18年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3207	20	3	8	6	37	12	2	0	2	1	5	2	4	1	46	15
19年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3083	20	3	8	6	37	11	2	0	2	1	5	2	4	1	45	14
20年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.2965	20	3	8	6	37	11	2	0	2	1	5	2	4	1	45	13
21年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.2851	20	3	8	6	36	10	2	0	2	1	5	1	4	1	45	13
22年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2741	20	3	8	6	36	10	2	0	2	1	5	1	4	1	45	12
23年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2636	20	3	8	6	36	10	2	0	2	1	5	1	4	1	45	12
24年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2534	20	3	8	6	36	9	2	0	2	1	5	1	4	1	45	11
25年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2437	20	3	8	6	36	9	2	0	2	1	5	1	4	1	44	11
26年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2343	20	3	8	6	36	8	2	0	2	1	5	1	4	1	44	10
27年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2253	20	3	8	6	36	8	2	0	2	1	5	1	4	1	44	10
28年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2166	20	3	8	6	36	8	2	0	2	1	5	1	4	1	44	10
29年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2083	20	3	7	6	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	44	9
30年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2003	20	3	7	6	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	44	9
31年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.1926	19	3	7	6	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	44	8
32年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.1852	19	3	7	5	35	7	2	0	2	1	5	1	4	1	43	8
33年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1780	19	3	7	5	35	6	2	0	2	1	5	1	4	1	43	8
34年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1712	19	3	7	5	35	6	2	0	2	1	5	1	4	1	43	7
35年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1646	19	3	7	5	35	6	2	0	2	1	5	1	3	1	43	7
36年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1583	19	3	7	5	35	5	2	0	2	1	5	1	3	1	43	7
37年目	H 64	0.99617	0.99684	0.99634	0.1522	19	3	7	5	34	5	2	0	2	1	5	1	3	1	43	6
38年目	H 65	0.99615	0.99683	0.99633	0.1463	19	3	7	5	34	5	2	0	2	1	5	1	3	1	42	6
39年目	H 66	0.99614	0.99682	0.99631	0.1407	19	3	7	5	34	5	2	0	2	1	5	1	3	0	42	6
合計						711	101	277	205	1,294	404	74	6	64	40	184	59	132	42	1,610	505